**be English Expression Ⅱ　教科書の特長**

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者の番号・略称 | 231・いいずな |
| 教科書の記号・番号 | 英Ⅱ 332 |
| 教科書名 | be English Expression Ⅱ |
| 発行者名 | 株式会社いいずな書店 |

|  |  |
| --- | --- |
| 内容の難易度 | 平均的または平均以上の英語力を持つ高校生を対象としている。 |
| 内容の取扱い | ・各課の題材には，「夢・将来」や「文化・行事」といった身近なものから「利便性」や「社会問題」といった高校生の興味関心に訴える深いものまで幅広い話題が扱われており，学習者の積極的にコミュニケーションをとる態度を育成できる内容となっている。  ・高校生が自分の考えや経験を述べる際の作文モデル（Warm-Up）や，ペアで会話練習をするコーナー（Conversation）など，コミュニケーションのための表現力を身に付けられる活動が数多く準備されている。  ・各Sectionの末に1ページ（「気持を伝えよう！」ほか）と2ページのコラム（「文章を書いてみよう！」ほか），巻末にパラグラフ・ライティングを学習するページがそれぞれ設けられ，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばせるようになっている。 |
| 単元の構成・配列及び分量 | ・各レッスンは「①導入（1ページ目）→②定着（2―3ページ目）→③発展（４ページ目）」の３ステップ構成で，シンプルで学習が進めやすい。  ・各課で学習する文法については，英語表現Ⅰで学習した文法項目を「表現」という観点で整理しながら復習する配列になっている。これにより，学習者は文法をより深く理解して，伝えたい内容に応じて適切に使う力を養うことができる。  ・教科書各Sectionでの学習到達目標が“STUDY FLOW”として後見返しに，各レッスンの学習到達目標が“TARGET”として各レッスンの1ページ目に，それぞれ掲載されている。これにより，学習者は常に目標を意識しながら自主的に学ぶことができる。  ・例文，練習問題ともに，学習者が表現力を伸ばしていくのに適した分量である。 |
| その他（図表，写真及び資料等） | ・学習への関心や意欲を高めるイラストや写真が豊富に掲載されている。  ・マークやアイコンの活用で，重要な情報がすぐにわかるよう工夫されている。 |
| 特記事項 | 英語の文法と，英語の表現力を実践的に学ぶのにふさわしい教科書である。発展的な問題も豊富にあって，学習者の力に応じて精選して指導するのに十分な内容である。 |